

## どの子ども問題解決に意欲的に取り組む授業づくり

岡山県岡山市立御南小学校 教諭 森永 進

### 小学校4年 算数 さんすう刑事ゼロ

#### 番組の特徴

ベテラン刑事ゼロと新人刑事イチが、「算数」を使って難事件に立ち向かうミステリードラマです。数字や図形に関する事件を捜査するゼロとイチの立場に立って問題解決の疑似体験ができる。

#### 研究の概要

番組視聴を通して、どの児童にも算数科における問題解決の学習活動に意欲的に取り組めるように、解決のヒントにつながる既習事項を整理しながら授業デザインを計画し実践を進めた。意欲をもって学習に取り組む、児童一人一人が集中して思考を深めることができた。また、本時の学習課題より発展した課題へと学習の広がりを見せた児童が多くみられた。

#### 授業デザイン（1 単位授業時間）

単元：概数

目標：四捨五入と得られた数がどの範囲の数であるかを説明することができる。

導入

学習プリントをすることで、番組内容にかかわる既習事項を振り返る。

番組視聴

第12回「四捨五入」の心理トリックに気をつける

課題把握

四捨五入したら、20000になる数を考えよう

自力解決

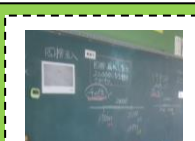
課題が整理されるよう、部分視聴しながら、課題を自分なりに解決する。

全体交流

番組視聴による解決の前に、解決の方法や考えについて交流する。

まとめ

最後まで視聴し、課題解決の確認後、今までの学習内容との関連を知る。感想を書く。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 課題を持つための番組視聴

サスペンス・ドラマ形式により、「分かりやすさ・解決への意欲を持つ」よさがあり、児童一人一人が課題をつかむことができた。

##### 自力解決のための場の設定

児童の思考に合わせて番組を途中でとめて確認し、考え合うことで、解決の意欲を持ち続けることをねらった。

#### 授業デザインにかかわる教師の工夫

##### 解決のための既習事項の確認

番組の中で取り上げられている課題を解決するために、関連する既習事項の学習プリントを用意する。

##### 課題解決の場の設定

児童の課題解決の意欲が持続できるように、課題をつかみ、解決の直前で停止し、課題の場を設定する。ワークシートを活用し、課題解決がしやすくする。

##### 単元の学習内容との関連性を伝える

既習の学習内容が問題解決に生かされていることに気づかせることで、算数が生活の場で活用できることを疑似体験することができる。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの反応や感想より

- 四捨五入でごまかされると思わなかった。
- もっと別のさんすう刑事ゼロを見たい。

評価シートから（実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。）

- 楽しく学習できた。
- 放送番組を使った学習は、分かりやすい。
- 集中して学習に取り組めた。
- 自分の考えを深めることができた。

##### 同僚の評価

- どの児童も自分なりに解決しようとする姿が見られた。

#### 実践を終えて〈行動宣言〉

「楽しく・集中して学習に取り組むことができた」という項目で、有意差がみられた。また、学習に用いたワークシートの書きぶりを見ても、どの児童が課題把握をきちんとすることができ、意欲的に取り組めたと考えられる。学力の差による学習意欲の待てない児童なども学習に意欲的に取り組めたとされる。今後も、どの児童にとっても学習に意欲的に取り組める授業デザインの工夫をしていきたい。